

2020年10月10日

Vol. 145

TIFA 会報

Tachikawa International Friendship Association

ホームページ <http://tifa-class.net/>

外国人に日本語を教えるボランティア団体

立川国際友好協会発行
発行責任者 木下 究
編集責任者 野口節子

ご挨拶

立川国際友好協会 会長 木下 究



本年5月、齋藤前会長からバトンを受け継ぎ、新たに会長に就任しました木下究です。TIFAに参加してまだ5年という若輩ですが、どうかよろしく願いいたします。

さて、今年の総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が発出されるなか、書面で議案が審議され、評決されるという異例の開催になりました。また、緊急事態宣言延長により会場である地域学習館が使用できなくなったため、日本語教室は第1期（8月末まで）休講とせざるをえませんでした。

しかし、ボランティア講師が

学習者に休講を伝えると、外出自粛や在宅勤務で日本語を話す機会が減っているなかで、日本語能力の低下を懸念する声が少なからず寄せられました。また、市役所市民協働課には、短期滞在中に出身国に帰れなくなった方をはじめ、多くの外国人から日本語学習に関する問い合わせがあったそうです。外国人市民にとって、日本社会で生活していくために日本語学習は欠くことのできないものであり、日本語教室の早期再開が求められていることを改めて認識することになりました。

したがって、新役員が最初に取り組んだ課題は、感染予防に細心の注意を払いながら、いかにして教室を再開するか、ということでした。また、この間、ズームなどを使って遠隔学習にトライするボランティアの方も何人かいらっしゃいました。

7月に、学習者、ボランティア講師双方に意向調査を行った

ところ、参加する方、しばらく参加を見合わせる方、遠隔学習を希望する方など、さまざまな意向が示されました。これらの意向を踏まえて、9月から、実際に地域学習館で実施する学習と遠隔学習を並行して日本語教室を再開することとしました。長期的な取り組みも念頭におき、新しい教室運営を確立する必要があると考えています。

いま、ポストコロナの社会を明確に見通すことは簡単ではありません。しかし、人口減少・高齢化がますます進行する日本社会で、海外との渡航が再開されれば、在留外国人が再び増加に転じ、多文化共生が引きつづき地域社会の重要な課題となることははっきりしています。国籍、文化の違いをこえて地域で支えあうための第一歩は、日本語の学習であり、交流です。

多文化共生の基盤を少しでも広げていくために、微力を尽くしたいと思います。

副会長ご挨拶

立川国際友好協会 副会長 柏田 泰利



会則に沿う役員改選で昨年度までの役員が全員退任されました。10年間に亘り TIFA の発展にリードされた齋藤前会長はじめ、長年の事業運営にご尽力された役員皆様へ感謝いたします。

5月の総会は過去にない書面表決が行われました。2020年度の新役員がスタートした矢先に、新型コロナウイルス騒動があり、日本語教室はようやく9月から開講できました。多文化交流サロン「えんがわ」は10月23日から開催予定です。

3密の感染防止策を優先し、柴崎学習館での授業では受講生の希望通りの受講日数が確保できない状況です。一方、ZOOMなどのオンライン授業もありますが、全員ができる状況ではなく、一部の人が実施しています。みんなでコロナ感染に注意し、TIFAの事業を工夫しながら進めましょう。

立川国際友好協会 副会長 牛島 芳



2001年より TIFA にかかわらせて頂き、ただただ受講生の方々と向き合うばかりでしたが、この度、副会長という重責を担う事になりました。木下会長、柏田木曜副会長、奥田事務局長にご指導いただき、このコロナ禍の中、通常通りとはいきませんが頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

7月、8月と佐藤土曜教室部長がボランティアの名簿整理や学習者への授業参加の意思確認等、メールや電話で気の遠くなるような作業をやって下さりスムーズにスタート出来ました。コロナ禍によるのか、時代の流れによるのか、学習方法のひとつに ZOOM による遠隔学習が出現しました。私は受講生との触れ合いを通じて、単に言葉を教えるだけでなく、受講生からも彼らの文化を教わり、国際交流を深めて行くことに TIFA があるとの思いで続けられたと思っております。コロナの感染拡大が収束して日本語教室で元通り楽しく学べるよう願っています。

2020年度 立川国際友好協会 役員

会長 木下 究 (もとむ)
副会長 柏田 泰利
副会長 牛島 芳
木曜教室部長 神原 修
土曜教室部長 佐藤 民江
西砂教室部長 磯崎 雅樹

会計部長 森 和子
事務局長 奥田 正博
企画渉外部長 大西 一光
広報部長 野口 節子
会計監査 山下 良子
会計監査 大西 美香

外国人のための日本語教室 9月から再開

9月5日には柴崎土曜教室と西砂教室が、10日には柴崎木曜教室が再開しました。

9月10日
木曜教室



全員、マスクを着用



ソーシャルディスタンスを取りながら



受講生 ボランティア

昨年度は新型コロナウイルス感染防止のため、年度の終わりまで日本語教室を開催することは残念なことにはありませんでした。立川市から委託されている外国人のための日本語教室として、今までこのようなことはなく、役員や日本語教室を担当するスタッフが慎重に検討した上で、2月後半から休講になりました。立川市及び近隣に在住する様々な国籍を持つ外国人にとって、日本語という母語ではない語学学習が中断してしまうことは日本で暮らしていく上で、とても不安を伴うことと思われまます。

TIFA の日本語教室で学ぶ受講生の方には長く通っている方も珍しくはありません。いろいろな目的を持ち続けながら継続学習していらっしゃる大勢の受講生のなかには、「ここしか (TIFA の日本語教室) 日本語を話す場所がない。」とか、「ここしか日本語を教えてくれるところがない。」とおっしゃっている受講生もいます。教室再開が待ち望まれながらも、当初に予定されていた4月の開講も緊急事態宣言により延期、6月からは学習館の利用も可能となりましたが、受講生、ボランティア、全ての人々が感染しないように、安全を期して9月の再開となりました。

9月10日は久しぶりの授業でしたが今までのように和気あいあいとした教室の雰囲気はありませんでした。学習館入館時には手指消毒をして、教室入室時には検温をします。マスクは全員が着用していました。ソーシャルディスタンスを取って、感染防止に気をつけながら今年度の学習がスタートしました。

2019年度 定時総会（書面表決）

5月10日の定時総会は新型コロナウイルス感染防止のため、郵送による書面表決で行われました。会員は郵送された定時総会資料（議案書）を確認の上、同封の書面表決書（ハガキ）に署名及び各議案への賛否を記入した上で郵送で提出しました。提出された68名の書面表決書は会員の過半数をはるかに超え、尚且つ、全ての議案について賛成が過半数を超えて可決されました。

運営委員会

7月11日に第1回運営委員会（出席者14名）、9月26日には第2回運営委員会（16名）がそれぞれ柴崎学習館第1教室で開催されました。各部報告の他に、新型コロナウイルス感染防止のための対策が慎重に検討されたり、会則改正のための小委員会設置が提案されたりしました。設置された小委員会により、会則改正のためのアンケート調査が会員全員に実施されます。詳細は議事録でご確認ください。

お知らせ

新型コロナウイルス感染防止のため、11月に予定されていた世界ふれあい祭りは中止になりました。

えんがわサロンについて

新型コロナウイルス感染防止のため2月から中止されているえんがわサロンですが、10月23日から感染防止に気をつけながら、時間を短縮して開催される予定です。

日本語教室開講日

2020年10月～2021年3月

柴崎学習館		木曜教室（午前10：00～11：30）				
10月	1	8	15	22	29	
11月	5	12	19	26		
12月	3	10	17	休	休	
1月	7	14	21	休		
2月	4	11	18	25		
3月	4	11	18	休		

柴崎学習館		土曜教室（午後7：00～8：30）				
10月	休	10	17	24	休	
11月	7	14	21	28		
12月	5	12	19	休		
1月	休	9	16	23	30	
2月	6	13	20	27		
3月	6	13	20	27		

西砂学習館		西砂教室（午後7：00～8：30）				
10月	3	10	17	24	休	
11月	7	14	21	28		
12月	5	12	19	26		
1月	休	9	16	23	30	
2月	6	13	20	27		
3月	6	13	休	27		

編集後記

半年ぶりの発行になりました。行事の中止が続き、当分の間は今までのような掲載内容とは異なりますが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。